

平成26年度 全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第67回全国高等学校バスケットボール選手権大会

(女) 2 回戦

試合日: 2014/08/03
開始時刻: 11:40~
会場: 八千代市民体育館
コート: Hコート
試合順: 第2試合(女) 2 回戦

Team A		Team B
県立広島観音	67	埼玉栄
(広島県)		(埼玉県)

TeamA(県立広島観音)

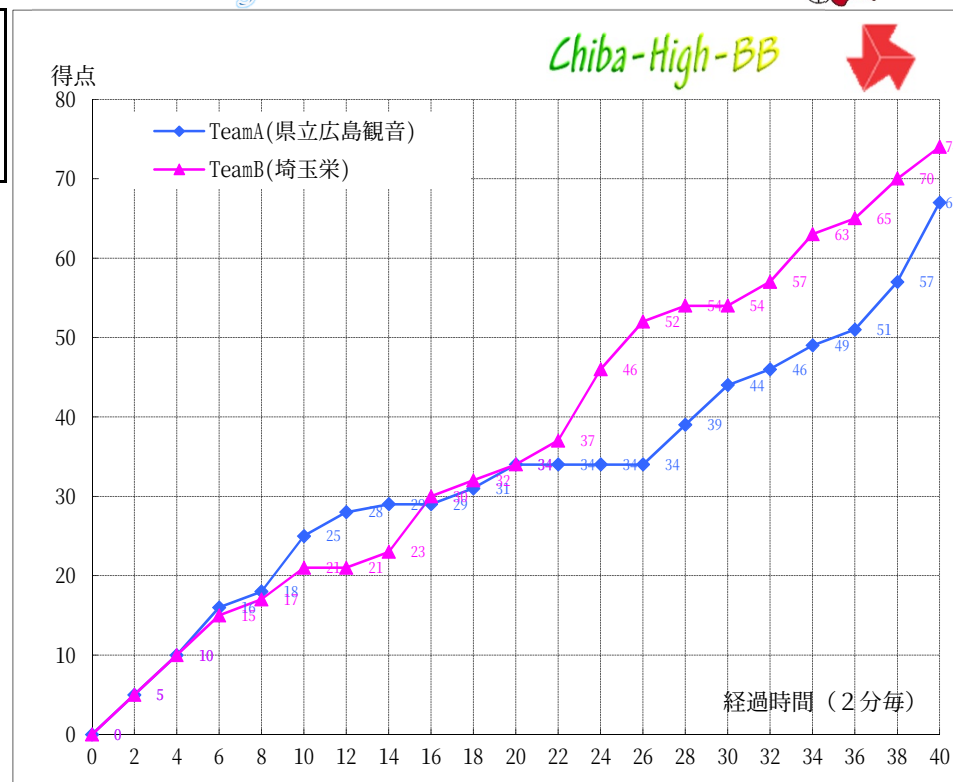
No	PT	選手名	得点	3 rd イント	2 nd イント	フリースロー	反則	リバウンド			アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
				成	成	成		off	def	計			
4	◎	佐々木 智彩	8	2	1	0	3	1	1	2	2	0	8
5	○	高島 葉月	3	0	1	1	1	1	1	2	1	0	1
6	-	秋田 帆乃佳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	○	橋本 あやな	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	2
8	-	野稲 真帆	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	◎	福原 凛花	18	1	7	1	3	2	4	6	2	0	3
10	◎	園田 祥子	18	6	0	0	1	1	0	1	0	0	3
11	◎	山田 莉々	15	0	7	1	4	11	8	19	1	3	5
12	-	藤本 玲菜	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	○	登 優雅	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
14	◎	飯山 佳奈	3	1	0	0	3	0	1	1	2	0	4
15	-	満足 星華	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:							0	0	0	0			0
合計				67	10	17	3	15	16	32	8	4	26

TeamB(埼玉栄)

No	PT	選手名	得点	3 rd イント	2 nd イント	フリースロー	反則	リバウンド			アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
				成	成	成		off	def	計			
4	◎	今村 ひかり	11	0	5	1	3	1	8	9	1	1	4
5	◎	ナウタヴァイ 絵美理	23	2	6	5	1	1	6	7	1	0	3
6	◎	藤野 希生	11	1	4	0	1	4	3	7	1	1	2
7	○	新井 李音乃	11	0	5	1	1	2	1	3	5	0	3
8	○	柿沼 あゆみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	○	植村 莉子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
10	○	古川 夢子	7	1	2	0	1	3	2	5	1	0	1
11	◎	渡邊 あゆみ	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
12	◎	梶原 理奈	5	1	1	0	1	1	2	3	1	1	4
13	○	野口 ブルーナ	2	0	1	0	2	1	1	2	0	0	3
14	○	弘重 綾野	2	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0
15	○	吉田 有花	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:							0	3	6	9			-
合計				74	5	26	7	10	17	29	11	3	25

T0 / CK / SS 千葉県高体連バスケットボール専門部所属高等学校バスケットボール部

InterHighSchool 2014 in Chiba 03H2



	前半(1・2 nd イント)	後半(3・4 th イント)	延1	延2	延3	延4
TeamA	14:13	18:24	22:38	33:44	38:55	
TeamB	12:07	-:-	38:12	39:29	39:59	

【戦評】

両チームともハーフコートマンツーマンでゲーム開始。観音は#4、#10の3P、#11のポストプレイなどで得点する。対する埼玉は#5が3P、ポストプレイとオールラウンドにこなし、さらに#4、#12の3Pで応戦し、第1Pは25対21で観音がリードして終了。第2Pに入り攻撃のリズムがつかめない埼玉がタイムアウトをとり、オールコートマンツーマンディフェンスでじりじりと詰め寄り、前半残り4分で逆転した。その後一進一退の攻防で前半を34対34で折り返す。第3Pの入りは、お互いにミスが続いたが、埼玉の#6の3Pから勢いづき3連続ゴールを決め一挙に7点差となる。観音はたまたまタイムアウトをとり、流れを止めようとするが、さらに埼玉のディフェンスは激しさを増す。焦る観音は3P、ドライブを試みるがリズムがつかめない。対する埼玉は#7の好アシストにより得点を重ね、第3P44対54で10点リード。第4Pに入り観音は逆転の望みをかけてオールコートマンツーマンディフェンスをしかけるが、ファウルが多くなり機能できない。埼玉はメンバーを入れ替える余裕もみせ、74対67で勝利した。

審判	佐藤 光二 / 名越 龍男 /	戦評	加藤 眞理子
----	-----------------	----	--------

千葉県高体連バスケットボール専門部